

平成28年度第1回学校評議員会報告

岩手県立福岡工業高等学校

1 期 日 平成28年7月4日(月) 14:00～15:30

2 場 所 本校視聴覚室

3 出席者

評議員	佐藤 純	前同窓会長
	佐藤 順	福岡市立福岡中学校長
	沢藤 幸雄	東光コイルテック株式会社代表取締役
	沢田 光広	元PTA会長
	長谷川 美恵子	元PTA母親委員

学校職員

三田 章徳	(校長)
細谷 正憲	(副校長)
菊池 好行	(事務長心得)
朝倉 衛	(総務部主任)
坂川 章浩	(教務部主任)
兼田 国博	(生徒指導部主任)
鳥居 郁夫	(進路指導部主任)

4 学校側の概要説明

総務部(朝倉)

- ・PTA総会の開催時間を保護者が参加しやすい時間帯にしたり、一斉配信メールによる案内を実施した効果からか、出席率が17.7%と昨年度より0.5ポイント向上した。今後さらなる出席率の向上に努めたい。

教務部(坂川)

- ・欠席数が非常に少なく、ほとんどの生徒が毎日学校に来て学習や部活動、資格取得に励んでいる。
- ・今年度より観点別学習評価を実施しはじめた。また校務支援システムも導入した。

生徒指導部(兼田)

- ・いじめの定義について全校集会やアンケート調査を行い、生徒への理解に努めた。

進路指導部(鳥居)

- ・平成27年度の卒業者は100%の進路決定を果たした。
- ・今年度の求人数は、昨年同様かそれ以上を見込んでいる。

5 提 言

(1) 学習活動について

【質問】 能力差の大きい生徒達が在籍しているが、実習についていけているのか心配

《回答》 能力に応じて、丁寧かつゆっくり教えているので、現在のところはついていけない生徒はいない。

【感想】 全校の出席率が99%は素晴らしい。是非継続していただきたい。

出前授業では、体験学習の効果や必要性を実感できたので今後も続けてほしい。

(2) 生活指導について

【質問】 スマートフォンの使用のルール等は確立されているのか。

《回答》 SNSによる事故等を起こさない、また起きないように使用時間や使い方について、ルールを決めて指導している。

【質問】 日常の生活状況はどのような感じであるか。

《回答》 特別指導は1件と少なく、ほとんどの生徒が落ち着いて学習や部活動、資格取得に取り組んでいる。

(3) 進路指導について

【要望】 スポーツでのインターハイ出場やものづくりコンテストでの東北大会出場など、生徒の活動をもっと外部にアピールしてほしい。

《回答》 HPなどを利用して、生徒の活躍の情報を外部へ発信していきたい。

【要望】 中途採用、特に3年未満でのUターンは多大なハンディがある。最初から地元就職できる指導をしていただきたい。

6 校長謝辞

学習面、生活指導、学校のPRや進路指導などについて、たくさんの貴重な意見や要望をいただき感謝します。こらからの教育活動に活かして参りたい。

また、4月から開設した盛岡みたけ支援学校高等部の生徒との交流も良い方向で動き始めており、本校生徒の情操教育にも大きな役割を果たすことから、今後も一緒に活動出来る場面を増やしていきたい。